

木曾岬町における糖尿病重症化 予防の取組について

木曾岬町役場 子ども・健康課

近藤 梨加

1. 木曾岬町の紹介

面積 15.74km² 東西2.12km、南北9.87km
県内で最も人口規模の小さいコンパクトな町です。

人口 5,929人 (R6.4.1現在)

高齢者人口 1,976人
高齢化率 33.27%

国保被保険者数 1,320人
特定健診受診率 46.0%
(R5年度)

町内の医療関係機関
医療機関(診療所)数 2
歯科医療機関 2
薬局 0



chocoZAP木曾岬店開店（令和6年7月5日）

- ・公共施設を活用した「官民連携コンビニジム」として全国初
- ・人口1万人以下の小規模自治体への出店 全国初

**チョコザップで、
体も心も健康になろう!**

木曾岬町とRIZAPグループ(株)との包括連携協定に基づき、町民の皆様の健康増進や介護予防の推進を図るための官民連携コンビニジム「chocoZAP (チョコザップ) 木曾岬店」が令和6年7月5日(金)、輪心乃里(木曾岬町和泉303番地3)施設内にオープンしました。

健康づくりや運動習慣を定着させるキッカケ作りの場として、ぜひご利用ください。



(広報きそさき令和6年8月号)



健診時間診の結果から運動習慣のない人が多い。
→運動習慣のきっかけづくりに期待

2. 組織体制

● 桑名郡市糖尿病重症化予防検討会

- ・桑名医師会(担当医師、対策委員等)
- ・専門医
- ・桑名市(保険年金室、保健医療課)
- ・木曾岬町(住民課、子ども・健康課)

● 木曾岬町事業担当

- ・住民課 : 国保担当者
- ・子ども・健康課 : 保健師

3. 現状と課題

●糖尿病医療費及び糖尿病のリスクが高い状態が続いている。

- ・糖尿病にかかる医療費が県や国と比較して高い。
- ・特定健診結果では、BMI、肥満、空腹時血糖、HbA1cの有所見者が三重県内の中で上位となっている。
- ・特定健診結果では、BMI・肥満の有所見者は加えて、生活習慣病のリスク要因を複数持っている人が県と比べて高い状態が継続している。
- ・令和5年度国保医療費分析から、透析については、「血糖リスク保有者は多いが、人工透析が少ない町」となっている。

4. 取組内容

(1) 桑名郡市糖尿病重症化予防検討会

- ・開催頻度 : 年2回開催。
- ・内容 : 各年度の事業報告
各年度の事業計画
プログラムの改正等について

桑名郡市糖尿病性腎症重症化予防プログラム

- ・平成31年2月策定
- ・令和2年3月改定
- ・令和7年3月改定予定

4. 取組内容

(2) 受診勧奨

対象者

- ・健診結果から空腹時血糖値:126 mg/dl以上またはHbA1c:6.5%以上だが、レセプトにおいて、健診受診日を含めて6か月以上未受療の状態が確認された者
- ・上記で、かつ尿蛋白1+以上だが、レセプトにおいて、健診受診日を含めて6か月以上未受診の状態が確認された者

方法

- ・個別案内通知による受診勧奨
- ・電話、訪問等により受診勧奨、状況確認
- ・レセプトによる受診確認

実施時期

- ・9月 対象者抽出 10~11月 受診勧奨通知
- 12~1月 電話、訪問による受診確認、受診勧奨
- 3~4月 レセプト等による受診確認

4. 取組内容 (2) 受診勧奨

実績

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
対象者数	12	9	11
受診者数	6	5	2
対象者の内 前年対象者	—	4	2
R6.12時点 未受診者	0	2	—

R6.12現在

- ・未受診者は翌年後期高齢者医療へ移行された方、社会保険へ移行された方で対象として外れている。
- ・令和5年度の未受診者は令和6年度継続し対象者となっている。
- ・毎年次の健診結果をみてからと言われる方が1,2名ある。

4. 取組内容

(3) 保健指導

対象者

・糖尿病性腎症3期と思われる者の中から、以下の①、②の者を候補者として抽出し、保健指導の参加について、本人及びかかりつけ医の同意があった治療中の者を対象とする。

① eGFRが60以上90未満で、尿蛋白2+以上の者

② eGFRが30以上60未満で、尿蛋白1+以上の者

方法

・桑名郡市糖尿病性腎症重症化予防保健指導ガイドラインに沿って、病期に合致した保健指導を実施する。

4. 取組内容 (3) 保健指導

実績

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
対象者	1	2	1
利用者	0	0	0
電話、面接 実施	1	2	0

1. がん治療中で県外総合病院受診中。対象外であったため、状況確認。
2. 県外総合病院において、栄養指導等受けている。
3. 前年度受診勧奨対象者、内科を受診中。町の栄養相談を受け、取組開始。対象年度においては、数値改善。

4. 取組内容

(4) その他

- ・健康づくり講演会

1年1回実施。

隔年でテーマを「糖尿病予防」として開催
糖尿病専門医等を講師に迎え開催

- ・糖尿病予防教室

対象者：一般住民（広報において参加募集）

健診結果から個別通知

内 容：糖尿病について、運動（実技）、食事（講義、調理、実食）

実施時期：1～3月 3日間

参加人数（実人数）：11名（令和5年度）

20名以上申込（令和6年度）

5.工夫した点

- ・未受診期間を短縮

6か月 → 3か月

- ・受診勧奨の時期を短縮

健診実施分7～11月 → 各月毎



抽出時期を最短健診受診翌年度7月から、健診受診年度12月に実施可能となる。

5.工夫した点

- ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施
(令和5年度から開始)

[ハイリスクアプローチ] 糖尿病性腎症重症化予防事業

対象者:①桑名郡市糖尿病性腎症重症化予防プログラムの
対象者と同様。年度途中で75歳になったあるいはなる者
②後期高齢者健康診査の結果からeGFR50以下で
要介護認定がない者

方法:国保事業の対象者を抽出した際に情報提供し、一体的実施
の担当者が介護予防を含めて訪問等で実施

[ホピュレーションアプローチ] 老人クラブ巡回健康教育

テーマを「糖尿病予防」「フレイル予防」として実施。

6. 振り返り、今後の課題

- ・実施時期の見直し

- ・担当者のスキルアップ

 - カンファレンス等での報告や共有が必要
 - 検討会での相談

- ・町内での啓発

 - 町広報誌やホームページ、メール配信等を活用し、町の現状について報告や取組のPRを実施していく